



愛の手であなたをつつむ 被害者支援

会報 **ふくしまの空**

発行 公益社団法人ふくしま被害者支援センター
〒960-8002 福島市森合町14-6
事務局 TEL&FAX 024-533-7830
ホームページアドレス <http://www.vsc-fukushima.net/>

性暴力等被害救援協力機関 「SACRAふくしま」に参画して

福島県生活環境部長
大島 幸一



犯罪や交通事故の被害に遭われた方々を支えるため、日々御尽力されている公益社団法人ふくしま被害者支援センター職員の皆様を始め、これらの活動を支えていらっしゃる会員の皆様方におかれましては、平素より、県が行う犯罪被害者等の支援業務に御支援・御協力をいただいております、厚く御礼申し上げます。

さて、11月25日から12月1日までは「犯罪被害者週間」であります。警察を始めとする関係の皆様のご懸命な御努力にもかかわらず、凶悪な犯罪や悲惨な交通事故は後を絶ちません。犯罪や事故の被害に遭われた方々をはじめ、その御家族、御遺族の方々が再び平穏な生活を営むことができるようになるためには、関係機関が、連携・協力して切れ目のない支援を進めていくことが重要です。

性暴力等被害救援協力機関「SACRAふくしま」では、支援センターが中心となって被害者に対する電話や面接による相談の対応、病院や警察署、裁判所への付き添い、日常生活の支援などを行っておりますが、県は、平成29年9月から県教育委員会とともに同機関に参画し、支援センター、県産婦人科医会及び県警察本部を含めた5者連携により、被害者がワンストップで支援を受けられるよう取組を進めています。

また、市町村を対象とした犯罪被害者等支援施策研修会の開催や被害者への相談支援体制の強化、広報カードを活用した啓発活動などを実施しているほか、「警察に相談できない被害者」に対する医療費の助成措置を行い、経済的負担を軽減し被害を受けた方々が早期の段階において適切な医療的処置やカウンセリングが受けられるよう支援する事業を実施しているところであります。

その一方で、性暴力等被害についての相談件数は年々増加しており、これらの支援体制をこれまで以上に充実させていくことがこれからの課題となっています。

県といたしましては、被害に遭われた方々が一刻も早く平穏な生活を営むことができるよう、支援センターを始め、市町村や関係機関等と一体となってきめ細かな支援に取り組んでまいり所存でありますので、今後ともお力添えをいただけますようお願い申し上げます。

最後に、公益社団法人ふくしま被害者支援センター及び会員の皆様方のますますの御発展と御健勝を祈念いたしまして挨拶とさせていただきます。

－ センターニュース －

犯罪被害者支援功労団体表彰受賞

令和元年10月18日(金)東京都イイノホールにおいて、「全国被害者支援フォーラム2019」が開催され、福島県民共済生活協同組合様が犯罪被害者支援に功労のあった団体として全国被害者支援ネットワークより表彰されました。

福島県民共済生活協同組合様は、当センターの活動に賛同され、当センターの活動を支援するため、平成20年より12回にわたって当センターに寄付をいただいております。



受賞の様子



福島県民共済生活協同組合様

●各種研修会を開催

被害者に寄り添った支援活動を行うために各種研修会を開催しました。

インテーク会議では、県警・大学院教授・公認心理師・弁護士を講師に招き、ひとつひとつの相談や支援への対応方法についてアドバイスを頂きながら、支援が適切にできるよう学びました。



全体研修会の様子



インテーク会議の様子

日時	研修テーマ	講師	内容	参加者
4月16日(火)	第1回 全体研修会	福島大学院教授	相談対応の基本姿勢	19名
		県警心理カウンセラー	支援者のメンタルヘルス	
5月20日(月)	第1回 インテーク会議	県警・大学院教授・公認心理師・弁護士		15名
6月4日(火)	第2回 全体研修会	県中央児童相談所職員	性被害に遭った児童の対応等	19名
7月22日(月)	第2回 インテーク会議	県警・大学院教授・公認心理師・弁護士		18名
8月6日(火)	第3回 全体研修会	全国被害者支援ネットワーク NNVS認定コーディネーター	直接支援の実際	15名
9月5日(木)	第4回 全体研修会	全国被害者支援ネットワーク NNVS認定コーディネーター	困難な電話相談対応	16名
9月11日(水)	第3回 インテーク会議	県警・大学院教授・公認心理師・弁護士		20名

●令和元年度被害者支援ボランティア活動員養成講座

被害者支援ボランティア活動員として活動していただける方6名に対し、9月9日(月)から10月15日(火)までの6回にわたり養成講座を開講し、県警・公認心理師・弁護士・産婦人科医師等関係機関の専門知識を有する方から被害者心理と支援の必要性について学ぶ研修を行いました。

また研修終了後、受講者に修了証書・任命書を交付しました。



開講式の様子



受講生の様子

●「よりよい被害者支援のために」研修会

令和元年7月6日(土)東京都にある上智大学において、文部科学省研究費助成事業の一環として研修会が開催されました。今回の研修には、当センターから支援活動員3名が参加しました。

【参加者に感想を伺いました】

今回研修会に参加し、被害者遺族の講話や犯罪被害者の状況や支援の現状、連携における具体的方策等たくさんの講義を頂きました。また全国から集まった多職種の方々とディスカッションも行いました。

地域によっては、すでに条例が制定されていたり、ワンストップが確立していたりと格差を感じるとともに、被害にあわれた方が民間支援団体へ相談しているのはわずか数%で53%の人が相談もできずに置き去りになってしまっている現状をあらためて知ることが出来ました。

また他機関連携を行うことで認識の温度差があったり、理解不足等により被害者に対して二次被害を与えてしまうことも知る事が出来ました。

私たちが出来ることは、民間支援団体をもっと理解してもらえるように、まず、相手をよく理解し現場の熱意を伝え、くじけない気持ちを持ち、自ら行動し、人を・組織までも動かせるように互いの顔が見える連携を行っていったらよいと考えます。

また被害者に対しては相手のレジリエンスを信じて、今どの過程にあたるのか見極めそれに応じた援助を行えるようになりたいと思いました。

支援員として2年目まだまだ手さぐり、わからないことだらけ、だからこそ感じる力・学んでいく意欲をもって継続していきたいと思っています。

(A・Hさん)

●令和元年度(北海道・東北ブロック)質の向上研修

全国被害者ネットワークに主催による質の向上上半期研修会が令和元年7月11日(木)から12日(金)秋田県秋田市において開催されました。

当センターの支援活動員2名が参加しました。



研修の様子

●被害者に優しいふくしまの風運動(命の大切さを学ぶ授業)実施

当センターでは、被害者に優しいふくしまの風運動の事業の一環として県警察と共催し、県内の中学・高校生を対象に「命の大切さを学ぶ授業」を実施しています。

この事業は、犯罪・交通事故の被害者遺族の方に講演していただき、生徒達が改めて命の大切さを学び、犯罪や事故を起こしてはならないという意識の向上を図る機会になっています。

今年度は、県内の中学校15校・高校7校で実施しました。



県立耶麻農業高等学校



東日本国際大学附属昌平高等学校

【令和元年度実施校】

桑折町立醸芳中学校・伊達市立梁川中学校・二本松市立安達中学校・本宮市立本宮第二中学校
須賀川市立稲田中学校・西郷村立西郷第一中学校・学校法人石川義塾中学校・鮫川村立鮫川中学校
猪苗代町立吾妻中学校・会津坂下町立坂下中学校・南相馬市立小高中学校・南会津町立荒海中学校
いわき市立江名中学校・いわき市立田人中学校・葛尾村立葛尾中学校

(中学校15校)

学校法人桜の聖母学院高等学校・県立郡山商業高等学校・県立小野高等学校・県立相馬東高等学校
県立会津学鳳高等学校・県立耶麻農業高等学校・東日本国際大学附属昌平高等学校

(高校7校)

●ホンデリングご協力お願い

「ホンデリング」とは、全国被害者ネットワークが行っている本売却による寄付事業です。

読み終えた本や、聞かなくなったCDはありませんか？

どうか、犯罪被害に遭われた方へ力を貸してください。

【ホンデリングの流れ】

- ①不要になった本・CD・DVDを箱に詰める。
このような本が支援につながります。



- ②ふくしま被害者支援センターに電話する。
(024-533-7830)

- ③宅配業者がご指定の時間に引き取りに伺います。
(1回の集荷は3箱以内)

- ④査定され、買取相当額が当センターに寄付されます。
※発送費用は不要です。

詳細は「ホンデリング」
<https://www.hondering.jp/>

被害者に優しいふくしまの風運動 支援の輪を広げるつどい2019 ～隣りにいるあなたができること～

令和元年11月30日(土)
12:15開場 / 13:00開演
とうほう・みんなの文化センター 小ホール

手話通訳あり

入場
無料

- 表彰式 「大切な命を守る」作文コンクール入選作品朗読
- 基調講演 「悲しみを生きる力に」…………… 入江 杏氏



上智大学グリーンケア研究所非常勤講師
世田谷区グリーンケアサポート検討委員
ミシュカの森主宰・「えんじにあす」代表取締役

国際基督教大学(ICU)卒業。2000年末、8年間の英国生活から帰国した直後、世田谷一家殺人事件により、隣地に住む妹一家四人を亡くされました。犯罪被害の悲しみ・苦しみと向き合い、葛藤の中で「生き直し」をした経験から、「悲しみを生きる力に」をテーマに、行政・学校・企業などでご講演・勉強会を開催されています。また、「ミシュカの森」の活動を核に、悲しみの発信から再生を模索する人たちのネットワークづくりに努められています。

■支援ミニコンサート …………… 弦楽四重奏団TOHOカルテット

TOHOカルテットは、東邦銀行グループ社員のみで結成された団体です。現在の団員は9名で、弦楽四重奏を基本とした編成で演奏活動を行っています。「すべてを地域のために」をモットーに、福祉施設でのボランティア演奏を中心に活動しています。



●街頭広報・募金活動のお知らせ

当センターでは、11月25日(月)から12月1日(日)の「犯罪被害者週間」に合わせて、会津若松市・郡山市・いわき市・福島市において街頭広報・募金活動を行い、犯罪被害者支援の必要性や重要性、センター利用の促進と途切れない支援活動への協力を呼び掛けます。

【開催日時・場所】

- 11月25日(月) 13:00～ 郡山市(JR郡山駅西口中央広場)
- 11月26日(火) 13:00～ 会津若松市(リオンドール会津アピオ店出入口付近)
- 11月27日(水) 13:00～ 福島市(JR福島駅東口広場)
- 11月28日(木) 13:00～ いわき市(JRいわき駅南口駅前広場)

皆様の温かいご理解とご協力を頂きますようお願いいたします。



【募金箱設置のご案内】

施設関係や企業及び団体に設置のご協力をお願いしています。

ご連絡いただければ、募金箱をお届けします。



寄付型

被害者支援自動販売機で
犯罪被害者を支援する
活動のパートナーに
なってください。



既設の自動販売機を
活用できます。

寄付金は自由に
設定可能です。

飲料代金から売上金の一部を
犯罪被害者支援活動に寄付してください。

PRスペース(写真赤枠)に
貼付けるだけで設置終了です。
貼付けの費用はかかりません。



被害者支援自動販売機の設置協力企業

(順不同・敬称略)

- (株)伊藤園
- (株)サン・ベンディング東北
- (株)サン・ベンディング福島
- (株)サン・ベンディング相双
- (株)ジャパンビバレッジホールディングス
- サントリービバレッジサービス(株)
- (株)ジャパンビバレッジ東北
- キリンビバレッジ(株)
- 福島ヤクルト販売(株)
- ダイドードリンコ(株)
- コカ・コーラボトラーズジャパン(株)
- 三本コーヒー(株)
- FVジャパン(株)



賛助会員募集中

当センターは、活動経費の多くが皆様の会費、ご寄付により運営されています。

年会費 ○ 個人…1口 2,000円より ○ 法人・団体…1口 10,000円より

福島県公安委員会指定「犯罪被害者等早期援助団体」
公益社団法人ふくしま被害者支援センター

<http://www.vsc-fukushima.net/>

〒960-8002 福島市森合町14-6(福島中央郵便局向かい) TEL/FAX 024-533-7830

*当センターは公益法人です。会費を納めたり、寄付をした場合は税法上の優遇措置があります。
*寄付は金額を問いません。